

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回 所沢市産業振興ビジョン策定委員会
開 催 日 時	平成29年6月27日(火)10:00~12:00
開 催 場 所	所沢市役所高層棟 6F 604 会議室
出 席 者 の 氏 名	朝倉はるみ 荻野敏行 河藤佳彦 工藤浩一 久野美和子 千年篤 政所利子
欠 席 者 の 氏 名	
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市産業振興ビジョン(素案)について (2) 意見交換等 (3) その他
会 議 資 料	資料5-1: 所沢市産業振興ビジョン(素案)
担 当 部 課 名	産業経済部 次長 増田謙二 産業経済部 産業振興課 課長 青木邦雄 主査 高橋史子 主査 村田貴紀 主査 板垣昭彦 主任 菅井悠登 産業経済部 商業観光課 課長 柳田晃芳 主幹 吉永寿久 産業経済部 農業振興課 課長 三枝恵一 主任 須田芳人 産業経済部産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
青木課長	開会
河藤委員長	あいさつ
	議題（１）所沢市産業振興ビジョン（素案）について
事務局	資料 5-1 に基づき説明。
委員長	資料 5-1（ビジョン素案）の作成経緯について補足。前回委員会での意見を事務局で踏まえ作成したたたき台について、事前に千年先生と私と事務局とで意見交換し素案として作成したものである。
	議題（２）意見交換
委員長	<p>本日の進め方について。この後もう 1 回委員会を開き、パブリックコメントを実施する予定である。今日の議論を踏まえ、素案を修正した上で次回委員会においてパブコメに提示する案を作成する予定である。</p> <p>意見交換のテーマとしては大きく、①全体の構成について、②特に第 3 章～第 5 章について、の 2 点を中心に行いたい。意見交換は各章ごとに切るのではなく全体として一括して行いたい。また細かい文言等についての意見もあるだろうが、限られた時間で一つずつ確認するのは限界があるため、会議後に事務局の方に連絡していただき、集約してもらいたい。</p>
委員	<p>全体として、非常によくまとまっていると思う。今まで出た様々な意見が反映されている。</p> <p>一般市民がこれを見たとした場合、色の使い方や字の大きさなどが気になった。P29 も文字が見づらかった。もう少し見やすくしてもらいたい。</p> <p>観光が重要になると思うが、広い意味でとらえれば、市民も含め人々に市内で消費してもらうことが観光業を支えると思う。ハードの整備も大切だが、何気ない日常生活の中で、市民も含め、まちなかで消費してもらうことも観光振興の一つと考えられる。市は観</p>

<p>委員長</p>	<p>光業についてそのようにとらえているのだろうか。</p> <p>このビジョンを今後市はどのように利用していくのか。例えば、アクションプランの取組主体の欄をみると、「市」の欄にはすべて〇がついているが、それに続いて商工会議所や団体・機関等にも〇がついている。市は商工会議所や関係機関にこれを説明するのか。説明せず勝手に主体に〇をつけてあとはやってくれと丸投げするのではなく、市がきちんとリードしていくべき。</p> <p>第1～2章はわかりやすかったが、第3～5章は読み進めるうちに情報が多すぎて分からなくなってきた。難しい表現が多いからかもしれないが、読むのに難儀した。関係団体との打ち合わせや広報、第6次総合計画などで使う場合には、もう少しわかりやすい資料が必要かもしれないと感じた。</p> <p>指摘事項としては大きく3点あった。①色の使い方や文字の大きさについては今後修正してもらいたい。なお、情報が多すぎて読むのが大変、という点は、確か概要版が別途作成されることになっていたかと思うので、そちらで対応可能ではないかと思う。</p> <p>②観光業の捉え方と特に大都市近郊型の所沢市における今後の観光の進め方について、また③本ビジョンの利用方法については、事務局より回答いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>①について、本ビジョンをできるだけ多くの市民や事業者に見てもらい活用していくため、ホームページや冊子等で公開していくが、本日の資料は素案であり、まだイラストや写真が入っていない段階のものである。今後写真などを盛り込んで、見やすくわかりやすいものを作成していきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>②について、観光を消費に結びつけるという視点は市でも持っており、基本方針3で特に打ち出している。所沢市をもっと魅力あるまちにするためにどう人を呼び込んでいくか、広域的な取り組みも含め書き込んでいる。消費に結びつけられるような施策を入れている。</p>
<p>事務局</p>	<p>③について、今後のビジョンの推進方策については、第5章の推進体制で示したとおり、仮称所沢市産業振興会議を立ち上げ、これに事業者の方々にも参画いただき、各団体の意見を吸い上げながら</p>

<p>委員</p>	<p>進めていくことを考えている。また、様々な団体の協力を得る必要があるため、懇談会等を継続的に実施し、各団体の意見を踏まえながら、協働で事業を進めていきたいと考えている。商工会議所や各団体にも、各事業の進め方について今後相談させていただきたいと考えている。</p> <p>なお、ビジョンは冊子とは別に、多くの市民の方に見やすくわかりやすいようにした概要版を作成する予定である。</p> <p>大きく3点指摘したい。</p> <p>①全体構成について。市の強みや弱みを踏まえた上で、何をするかという流れはある程度示されている印象を持った。4つの基本方針があり、その中に様々な施策が位置付けられているが、人によってはこの施策がどうしてこの基本方針の下にあるのか、と疑問に感じるものもあるかもしれない。各施策がなるべく多くの人に理解してもらえそうな位置づけになっているとよいと思う。</p> <p>②PDCA がきちんとできるかが大切である。短期的なレビューと長期的な改編を組みわせることになるのではないと思うが、産業振興会議で短期的な年度ごとのレビューをしっかりとやりつつ、5年間という中期で PDCA を回してビジョンを見直すという理解でよいのか。</p> <p>③市民が最も関心を持つのは、何をやって何が実現するのか、という点ではないか。そういう視点で、市民になったつもりで読んでみると、先導プロジェクトが最も関心高い部分になるのではないと思うが、目標指標をみると5年間で数値が全く変わらないものがある。数値が変わらない目標には市民は違和感を持つのではないか。卸売業も小売業も事業者が減っている中で、現状維持すら困難、という点はわかるので、きっちり試算をした上で現状維持が妥当だと判断したならば、それはそれでよいと思う。数値目標を立てるとき、定量的に増加するという目標を立てることも大切だが、なかなか具体的な数値を出しているのが難しい場合は単に「増加を目指す」というような表現でもいいのではないか。千葉県の総合戦略などはそうしている。</p>
<p>委員長</p>	<p>指摘事項としては大きく①PDCA の管理方法について、③数値に変化のない目標指標の捉え方について、の2点。事務局の考えは。</p>

事務局	<p>①PDCA について、本ビジョンは 10 年間の計画であり、5 年ごとに大きな見直しを行う予定である。毎年度、産業振興会議で事業進捗を報告し、評価をもらいながら年度ごとの到達点と課題を把握していくが、大きな改定は計画期間の半分の 5 年で行う予定である。</p> <p>②先導プロジェクトの数値目標について、確かに横ばいの数値になっているものが多いが、これは現状を厳しく精査した結果である。工業に関しては、今後カドカワの進出によりある程度製造品出荷額の増加が見込まれるが、他はなかなか厳しい。数値の在り方については今日色々ご意見をいただければと思っている。</p>
委員長	<p>確かに P50 の先導プロジェクト B の目標指標をみると、年間商品販売額、農業生産額とも目標値が全く変わらないのは気になる。無理をして高い目標数値を入れるのも問題だが、一方で数値が全く変わらないものを目標として示して、果たして市民に納得してもらえるだろうか。</p>
事務局	<p>市としては、卸売業・小売業が減る中で現状を維持すること自体がプラスの評価をしていると考えている。現状値として示している国の調査は 5 年ごとなので最新の調査の値が少し古いという問題もあり、実際には今現在はもっと下回っていると思われるため、この目標値も現状からみればプラスの数字と考えている。ただ、5 年間すべてに同じ数字を入れているため変化なしと見えてしまう点もあるため、いただいたご意見を踏まえ再度検討したい。</p>
委員長	<p>数値目標の掲載については決して無理をする必要はない。その指標について、今後減少するのが一般的な傾向となっているなか、維持すること自体がプラスの評価なのだと思えば、それはそれでよいと思う。</p>
事務局	<p>農業生産額については、先ほどご指摘いただいたように具体的な数字ではなく「増加を目ざす」という表現で表すのはひとつの考えとしてよいと思うので、その方向で検討していきたい。</p>
委員	<p>P50 の製造品出荷額は税務署で把握されている売上高の合計数字ではないのか。</p>

<p>委員長</p>	<p>経済センサスの数値である。経済センサスは国が行う統計調査で、全数調査で実施されているものである。</p>
<p>委員</p>	<p>このビジョンは誰に向けて作るのかといえば、市民に向けてだと思ふ。その問題がひとつある。調査そのものが一般論ではなく所沢のオリジナルなものになっているかどうかという点が2番目の問題点。3番目は、今これだけ激動する時代の中で、このビジョンは平成39年までの計画期間となっているという点。平成39年までの間に大きな出来事が予定されている。東京オリンピックもあるし、そのあと大不況が起きるといふ予測もある。人口も激減する。海外の産業を取り巻く問題にも大きな動きが予測されている。このように今後大きな動きが予測される中で、一般論的なものをP23~24に長々と書いている気がする。第2章に色々な表を集めたのはいいが、所沢市の人口を単純に乗せるのではなく、所沢の産業を支える人口がどうなるかを示すべきではないか。P6にあるコメントも何を意味したいのか分からないし、地域経済循環図が何を意味しているのか分からない。意図したいことがあるのであれば、それに合ったグラフを入れるべき。市民がこれを読むときに、所沢はこの先の社会情勢の中でどうなっていくのかという目標値については、全国平均との比較をしても意味がないのではないか。地域産業が厳しいなか現状維持は素晴らしいことであり、量の話をしてあまり意味はない。むしろ質の方がこれからは問題で、特に所沢市のように都市近郊型であればなおさら、製造業にしても農業にしても、質の良いものをどう提供していくかがポイントになる。P24にもそのあたりを打ち出していく必要があるのではないか。</p> <p>P10の円グラフは、一般的な経済指数のグラフではなく、所沢の傾向としてもっと簡単なグラフとするべき。現実をふまえたものが前段で示されているべきであり、アンケートの分析がもっと出てくるとよいのではないか。</p> <p>先導プロジェクトは、個別の重点事業ごとに計画期間や目標指標を示す必要があるのか。重点事業ごとに表になっているが、こうする意味があるだろうか。タイムスケジュールを示したいのであればもう少しわかりやすく、全体の中でそのプロジェクトがどういう風に進むのかということを示す方がよいのではないか。各主体の関わりとして、重点事業ごとに参画主体が示されているが、市民を含め事業者が自覚を持って参加できるような編集の仕方をしないとい</p>

<p>委員長</p>	<p>けない。私はこの表現方法は適切ではないと思うが、もし市がこれで適切だというのなら、このように重点事業ごとに表にする意味を教えてください。</p> <p>細かい文章の精査はお任せするが、P45 の主要施策 4-2-2「働きたい人が働ける環境づくり」のところで、説明文の冒頭に「あらゆる人が」とある。「あらゆる人」という表現はあまりに広い。表現としてどうかと思う。</p> <p>いくつか指摘があった中で具体的な考えを伺いたい点もあるが、まず①第2章のグラフや数値について、特に P2～P14 は各数値の意味が分からないという指摘があった。所沢の産業の特性や姿を表すうえで必要な数値となっているのかという指摘である。また、②先導プロジェクトの重点事業について、事業ごとにスケジュールを示すことがどういう意味を持つのかという点。なお、③言葉の使い方については、お気づきの細かい点は後で事務局に伝えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>①統計等については、本市の今置かれている状況をできるだけわかりやすく表記したつもりである。ご指摘を踏まえ、検討できるところは検討していきたい。②ビジョンは 10 年を計画期間としているが、5 年で見直しをする予定であり、毎年度進行管理を行いながら進めていく。なかでも重点事業は特に先行的・重点的に進めていくものについて抜粋し、具体的に目標数値も含めて表示した。③文言については今月一杯をめどにご意見いただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>①の点については、思想性をもって載せる数値を選んでいるか、というご指摘ではないかと理解した。先にグラフありきではなく、説明したい市の現状や推進したい施策につながるような数値をここでは示してほしいという趣旨でのご指摘ではないかと思う。かなり抜本的な修正になるかもしれないが、検討してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>第2章については、全国平均と比べるよりは、むしろ関東圏域の類似の市と比べる方がよいのでは。思想性と委員長は表現されたが、まさに先導プロジェクトにつながるような思想をもって統計を出さないと市民にはわからない。</p>

委員長	<p>アンケート調査の結果は大切であり、重要な情報なので、問題意識のベースとして入れ込んでいくべきであろう。</p> <p>②重点事業に関する指摘について意図を確認したい。こういう表で事業ごとに進行管理をしていくことが妥当かどうか、という指摘ということによいのか。</p>
委員	<p>編集方法はお任せするが、重点事業がいきなり出てきて、目標指標と実施期間、プレーヤーが突然出てくるので違和感を持った。それぞれの事業ごとに個別に羅列するよりは、このプロジェクト全体をどれくらいのスパンでやっていくのかがまず示されるべきではないか。挙げられている重点事業だけで各プロジェクトが完結するわけではない。</p>
事務局	<p>それぞれの先導プロジェクト全体の目標は見開きの左側のページ下の目標指標に示しており、その実現に向けた取組の中でも重点的な事業を右ページに示している。重点事業についてどう表現するかは内部でも議論をしたが、実現に向けた取組の実施体制とその中身を説明したものであり、市としてはこの形でいきたい。</p>
委員長	<p>計画期間における目標指標が各プロジェクトの目標になるのだろうが、「指標名」といきなりあるのがわかりづらいのかもしれない。この指標がプロジェクト全体の目標であることをもう少し丁寧に説明すればよいのか。</p>
委員	<p>紙面も限られているのでどう直すかはお任せする。</p>
委員	<p>今は19世紀の産業革命に匹敵するくらいの大激動の時期にある。第2章の話が出てくるが、全国や関東と比べてどうこうなどという小さい話ではない。5年先10年先の構想を作ることは大切だが、このような激動の時期にあっては、恐らく見通し通りにはいかず状況は大きく変わるだろう。ゆえに一番大切なのはどのような体制で進めるかである。今は行政が「これをやりましょう」と一方的にいう時代ではない。多くの主体が協働することが前提となる。「融合」というキーワードがあるが、これこそが所沢の産業振興施策の大きなポイントである。所沢市は産業と暮らしが融合している街を目指すのだという点は、本ビジョンの最大の特徴である。このように目</p>

	<p>指すものを定めてからバックキャスト方式でそれに向けた施策を立てていくというやり方はよいと思う。私はこのビジョンの作り方、分析の仕方はよいと思う。今の時点で最適なものをとりあえず考えて示し、あとはこの激動の時代に多くの主体が力を合わせて取り組んでいけるかが一番大切ではないかと思う。</p> <p>平均年齢が伸びるなか、今後は定年の見直しも必要になってくるだろう。平均年齢が120歳に伸びたとすれば、65歳の定年はまだ寿命の半分しかたっていない。残りの半分の寿命をどう健康に過ごすか、健康長寿を目指すことが一つの大きな課題になる。ある研究によると、男性の1割は健康のまま平均年齢までいけるが、女性はそれより低いらしい。この男女の違いは、社会的な生きがいがあるかどうかにあるという。社会的に生きる意義を持っているかどうか健康を左右し、健康長寿につながるようだ。であれば、定年を迎えた高齢者が学び直しをしながら地域に役立つような仕事の場、コミュニティの場を作り、残りの半分の寿命を市のために役立てていくということがこれからは重要になっていくだろう。うまくすればそれが労働力にもなるので、産業振興ビジョンにも、そのような対策を考えておく必要があるのではないか。具体的には基本方針4の雇用の確保あたりで一行入れるかどうか。</p> <p>あとは、全体としては、今までの委員会での意見が反映されているので良いと思う。</p>
委員長	<p>指摘事項は大きく2つ、①社会経済情勢が大きく変動する中で柔軟に対応する必要がある、そのために推進体制の構築が大切になる、という点と、②今後高齢者の社会参画は重要度を増すため、表現を追加していくことも検討してもらえれば、という点。</p>
委員	<p>①構成について。全体的にはカラーになって見やすくなったが、多くの市民に読んでもらえないと意味がない。冊子や概要版の印刷、またPDFにして全文公開することも踏まえて考えると、第2章の主要データは巻末に移し、もっと圧縮したらどうか。日本人はまじめだから第1章から順番に読む人が多いが、第2章がかなりのボリュームがあり、負担になる。第2章は必要だが、もっと圧縮して、グラフは巻末につけるくらいの割り切りをした方が、読む人が市の概況を頭に入れたうえで、第3章以降の施策を読み進められるのではないか。また、第3章以降も図表を入れてかなりわかりやすくな</p>

っているが、図表の向きを統一した方がよい。左から右に流れる図と、上から下に流れる図と、ばらばらである。図表の流れを統一しておくともっと見やすくなると思う。できれば左から右に流れるように統一するとよい。第4章で基本方針別に話が進められ、アクションプランとして取組主体とざっくりしたスケジュールが出てくるが、できればこのアクションプランのところに先導プロジェクトが出てきた方がよいのではないか。アクションプランの網掛けが先導プロジェクトであるという説明が※印で表の下に書いてあるが、実はこれこそが非常に重要なことであり、小さく※印で済ませて後ろを参照とするような話ではない。先導プロジェクトについてはここで説明した方がよいと思う。そうすることによって、基本方針ごとにまとまってしまう、先導プロジェクトとしてのインパクトは弱まるかもしれないが、たくさんある施策の中で先導的に進めるものが何かの流れの中で提示した方がわかりやすいのではないかと思う。もちろん現在の形でも先導プロジェクトとしてのインパクトはあるので、どちらがよいという問題でもないが、いかに市民や事業者が興味を持って読んでもらうかということを考えると、関心のある基本方針について施策から先導プロジェクトまで通して読んでもらえるような流れがよいのではと思った。

なお、アクションプラン（P33 など）と先導プロジェクトの重点事業の表（P49 など）の表頭の順番が不統一であるため、統一した方がよいと思う。

これは「ビジョン」なので、大きな施策の流れをわかりやすく示すことが大切である。先導プロジェクトでは、いくつかの重点事業を示してそれぞれに個々の目標数値が示されているが、これは「ビジョン」で示すものはなく、その実施計画で提示した方がよい。ビジョンはもっと大きな施策の方向性を示すものであるという割り切りをしてもよいだろう。

観光について。先ほど指摘があったように、市外から来た方に市内で消費してもらうことが観光産業、という認識はその通りだと思う。そうすると観光客に来てもらうことが大切になるのだが、それに関する施策が今は各柱の中に埋もれてしまっているような気がする。できれば、3-4 として新たに柱を設けて、外から人を呼び込むということに着目した施策を集めるとよいのではないか。観光客の誘致はそれくらい重要度があるので、3-1 から 3-3 の主要施策のバランスを見ながら、誘客のための施策を 3-4 として新たに起こす

<p>委員長</p>	<p>ことも検討してもらいたい。</p> <p>指摘があったように、第2章は短縮化の方向で再考してもらいたい。できるだけ重要なものに絞り込んでいくという方向で再検討してもらおう方がよいだろう。</p> <p>また、先導プロジェクトの記載の仕方についての意見があったが、先導プロジェクトは非常に重要なので、それはそれでひとつ項目を立てるという考えもあり得ると思う。一方で、先導プロジェクトが基本方針の中でどう位置付けられているかをまず示すという流れも考えられる。どちらがより良いということではないが、施策体系の中で先導プロジェクトがどう位置付けられているのか確認できるような編集は確かに必要であろう。</p> <p>図表の流れをそろえるという点も検討してもらいたい。</p> <p>重点事業の目標数値をビジョンからは外すべきという意見は、言われてみればそうかもしれないと思う。切り分けの問題なので検討してもらいたい。いずれにしても、一般市民に分かりやすくという視点で、ビジョンに盛り込む内容を精査した方がよいだろう。</p> <p>観光については、確かに外から所得を持ってくるという点で市の基盤産業になるので、誘客を一つの柱にするという指摘は検討してもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ビジョンを多くの人に分かりやすく伝えるのが大切という点はその通りなので、第2章の短縮化なども含め検討していきたい。また図表の縦横の流れについても検討したい。</p> <p>先導プロジェクトの示し方については、市としてはこれがよいと思っているが、いろいろな考え方があると思うので、この委員会の中で方向性を決めてもらいたい。</p> <p>なお、実施計画は作る予定はなく、本ビジョンをもって進行管理をしていきたいと考えているため、本ビジョンの中にも重点事業についてはある程度具体的な数値を示していきたいというのが市の考えである。</p> <p>基本方針4での新たな柱の創設については、検討したい。</p>
<p>委員</p>	<p>P29に施策の体系図がある。これがビジョンの全体図になるが、ここに先導プロジェクトが入っていない。先導プロジェクトとは何かが最初に体系図に示されていれば、各施策の柱の説明のあとに出</p>

<p>委員長</p>	<p>てきてもよいが、先導プロジェクトが体系図に入っていないのに後から出てくるので、おまけのように感じる。体系図の中に先導プロジェクトについても示すべき。施策体系図は全体像なので、そこに載っていないものがあとから出てくるというのはいり得ない。</p> <p>重点事業ごとに目標数値を細かく出すことはあまり意味がない。基本方針ごとに3つくらいの目標数値を出す程度でよいのではないか。今は行政計画を策定するときは数値目標を示せと言われる時代なのは承知しているが、どのレベルで目標数値を出すか、もう一度市の中で議論した方がよいのではないか。</p> <p>確かに P29 の施策体系図の中に先導プロジェクトを入れるべきであろう。P29 の前に先導プロジェクトとは何かという説明を入れ、施策の柱とは何か、主要施策とは何かの説明があり、それらを総括して、先導プロジェクトを入れた施策体系図を示すとよいのではないか。またそれと併せて、目指す姿も P29 に入れるとよいのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>全体を通して見た印象としては読みやすかった。よく整理されているし、4つの基本方針のワーディングも変わっていて、ひらがなも多くなり、よくなったと思った。</p> <p>ただ基本方針ごとに施策に濃淡があるのが違和感を持った。例えば基本方針2や基本方針3の農業関連の施策は非常に細かく出しているのに対して、基本方針1の製造業に関する施策は具体性がない。製造業は多様だから仕方ないが、具体的にどの分野をどうするのかというところがよくわからなかった。所沢市にはどのような個性ある企業があるのか、どのような GNT 企業があるのか、というようなことが前段で示されているとわかりやすいだろう。</p> <p>P28 の 1) で「国内外から多様な人・モノ・情報・企業が集まり」とあるが、海外戦略が明確に示されているわけではないので、ここは「国内外」ではなく「地域内外」くらいでもよいのでは。</p> <p>基本方針2のアクションプランに「家畜の伝染病予防等の防疫対策の向上」という取組が載っているが、家畜の伝染病は所沢市でそれほど大きな問題なのか。いずれにしても、農業はこれくらい細かい施策が出ているのに製造業の施策が大雑把であり、濃淡があるので違和感を持った。</p>

委員	<p>製造業については私も所沢市でどの分野を伸ばしたらよいのか考えたが、正直よくわからない。</p>
委員長	<p>製造業について、文章として説明する方法もあるが、優良事業所や GNT 企業などの写真を事例として入れながら説明する方法もある。いずれにしても、所沢市の製造業において優位性を持っている事業所・分野を具体的に示すとよい。</p> <p>私も全体を通して非常に良くなったと思っている。ただ色々な意見もあったので、反映できる点は検討してもらいたい。</p> <p>先導プロジェクトの位置づけについて、体系図（P29）に先導プロジェクトを入れるとともに、先導プロジェクトは何かということを経済図の前に入れるということはどうだろうか。</p>
委員	<p>これからどうするかということを示すのがビジョンなので、その意味では大事なのは第3章～第5章であり、なかでも特に5-2が最も大切である。極端な話、ビジョンは5-2だけでもいいくらいであり、概要版は5-2の要約をつくるくらいの世の中の流れになっている。ここをもっと重視してもよいのではないか。</p>
委員長	<p>それは5-2を前に持ってきた方がよいという意見か。</p> <p>先導プロジェクトの扱い、及び、今指摘のあった5-2の扱いについて、この2つを前段に持ってくるということはどうだろうか。</p>
委員	<p>5-2はいきなり前に持ってくるのは難しいと思う。ここが重要であるという認識を持ってもらいたいだけ。</p>
委員長	<p>では、5-2については位置は変えず、この節の重要性をきちんと示すということで検討願いたい。</p> <p>文言等については別途意見があれば事務局に提案してもらいたい。</p>
委員	<p>アクションプランで示されている各取組主体に対して、パブリックコメントの前に話をしておく必要があるのではないか。勝手に市が○をつけただけでパブリックコメントに出してしまうのではなく、その前に各団体との合意形成を図っておいてもらいたい。</p>

委員長	<p>今日の議論でだいぶ構成が変わると思うが、現時点の資料で説明してしまうのか。もしそうなら、今後構成等が大きく変わる可能性があるという点だけは、各団体に誤解がないよう説明しておいてもらいたい。</p>
事務局	<p>6月30日（金）に各産業関連団体を集めた懇談会を開催する予定であるが、ビジョンそのものについて各団体からの意見を求めるものではない。各事業の進め方について、それぞれの団体から意見をもらい、推進方策を検討する際の参考にしたいと考えている。</p>
事務局	<p>議題（3）その他</p> <p>次回は平成29年7月31日（月）午後1時からを予定している。なお、追加の意見は今週中にメール等で提出してもらいたい。</p> <p>閉会</p>

以上